

ご提案書

以下の企画をご提案させていただきます。ご検討よろしくお願ひ致します。

ご提案内容

「星野村の『原爆の火』を8月6日に灯し、平和のメッセージを全世界に発信する」

原爆が投下された8月6日に、広島では毎年、亡くなられた方へのメッセージや、平和へのメッセージを添えた灯籠を川に流す「灯籠流し」という風習があります。そこで使われている火は、福岡県星野村という小さな田舎町に今も尚現存する原爆の火が2001年から使用されるようになりました。広島の灯籠流しのために星野村から受け取った火を分火し、上海万博会場まで運び、この火を灯したランプを8月6日に上海万博会場内に設置する事で世界に平和のメッセージを発信してみたいと思っております。輸送に関する手続きや費用について、アジアの平和、世界の平和を進めるために私共の団体が喜んで引き受けたいと思っております。

■原爆の火について

故・山本達男氏が原爆投下後に叔父の形見としてカイロ灰で故郷の福岡県星野村に持ち帰る。ひっそりと23年間守り続けた後、メディアに取り上げられ、村民全員の希望で星野村役場に「平和の火」として引き継がれ今も尚、守り続けられている。広島で開催している灯籠流しは2001年よりこの火が使われている。非常にへんぴな場所にひっそりと灯されているため、広島や長崎の人でさえもその存在は殆ど知られていない。

■ご協力いただきたい内容

8月6日に上海万博施設内に平和の火を設置する場所をご提供下さい。

※原爆の火を管理している星野村役場や輸送等に関する手続き等はキャンドルナイトワンピース実行委員会が代行し、輸送にかかるコスト等もコチラで負担させていただきます。

■提案者『キャンドルナイトワンピース実行委員会』について

「平和の火の存在を知って欲しい」というコンセプトの元、20代～40代の有志によって運営される任意団体。毎年夏至に日本全国で開催されるキャンドルナイト（約700万人が参加）で主催者に平和の火での開催を提案。2007年から実施し、2008年には日韓合同での開催を成功させ、昨年は19都道府県約60会場で開催。3年間で60以上の新聞・雑誌・TV等のメディアで紹介されています。詳しくはホームページをご参照ください。

<問い合わせ先>

Candle Night 1 Pi:ce(キャンドルナイトワンピース)実行委員会 代表 吉澤 武彦

〒531-0074 大阪市北区本庄東 2-12-6-304 HP <http://www.1pi-ce.jp>

E-mail yoshizawa@1pi-ce.jp TEL/FAX 06-6375-7816 携帯 070-5654-1538